

白聖会報

府立商工、都立北豊島工高
同窓会、会報第四十七号
平成二十年六月一日発行
発行所
板橋区富士見町二八一
都立北豊島工業高校
白聖会広報部
印刷・編集
E・P・S

これからの白聖会について

白聖会副会長 永田 昇



蓼科の白聖山荘におきまして、会員の皆様には大変お世話になりました。ご存知のように財務部の斎藤様のご尽力により、一昨年山荘を閉鎖し売却することができました。山荘を運営するには年間維持費が大きく、白聖会の財務に与える負担は厳しいものがあり継続を希望する会員も多くなりましたが、ご理解いただき閉鎖・売却をいたしました。

また、この売却資金で「ワンルームマンション」を買い増し計三ルームになり財務状況も安定へと向かっています。

昨年の総会にて私が大井先生の担当しています会計部を引き継ぐこととなり、現在先生と作業を進めており、この総会では正式に交代が出来る予定ですのでよろしくお願ひします。

現在、白聖会の大きな課題は「新入会員」の減少、白聖会会員の参加率減少と私は感じております。これに対し、昨年から財務部の提案で「新入会員の入会金を廃止」という経済負担を軽くし、白聖会へ入りやすい改善策を会則に盛り込みました。

間もなく本校は九十周年を迎えようとしています。それだけ会員の年代層が厚くなり、歴史の重さは充分感じますが、中にいる会員の皆様にとつては、逆に重荷となり年代ごとの層(壁)が出来てしまうのではと、危惧をしています。

白聖山荘を管理していた時、申込み利用者は会員の場合殆ど同期会、クラス会で利用していました。同窓会の白聖会総会でも、同期、同じクラスの方々がまとまり易いのは自然の形ではないでしょうか。

白聖会の主な年間行事は六月「総会」十一月「本校白聖祭での白聖会コーナ参加」二月「新年会」ですが、以前は八月に「ゴルフ」を山荘で一泊して行っていました。これからの事業について、八十五年の歴史のある(年齢の幅がある)同窓会を今以上に継承するためには、どのような形で(どんな形で)よいか多くの会員の皆様の、ご意見を賜りたいと願ひたく、今年の総会にぜひご出席いただきますようお願い申し上げます。

会費納入について

一、会費

年会費 壹千円

二、会費の外にご寄付も同時に受け付けております(金額はご自由です)。

一万円以上のご寄付をされた会員又は会員関係の企業には次年度の会報にご希望の広告を掲載致しますのでご利用下さい。

三、納入方法

1、同封の郵便振り込み用紙の通信欄の該当項目に○印をして下さい。

2、金額欄には合計金額をご記入下さい。

四、新入会員は三年間会費納入不要(例、平成二十年三月卒業生は平成二十三年より納入)

但しご寄付についてはこの限りではありません。

●必ず振替用紙を使用して下さい。

五、なお振り込み料金は当会負担です。

「白聖会ホームページアドレス」

<http://www.hakukakai.jp/>

「北豊島工業高校ホームページアドレス」

<http://www.kitatoshimako>

gyo-h.metro.tokyo.jp/

平成二十年度白聖会

総会のお知らせ

(一)日時

平成二十年六月二十一日(土)
午後一時 開会
午後十二時半より受付

(二)場所

母校 二階会議室

(三)会次第

会長挨拶
役員改選 会務報告
会計報告
事業計画および予算の審議
その他

(四)懇親会(地図八ページ参照)

富士見地域センター
(旧板橋区立第四中学校跡)
午後二時三十分開催予定
(多少の時間変更あり)

会費 四千円

(五)平成十八年三月以降の卒業生および現・旧母校職員は会費無料です。

◆ 出欠は、同封の「申し込みハガキ」にて五十円切手貼付の上、郵送をお願いします。

定時制を守り、育て、
光を当ててくださる白聖会



前定時制課程副校長
松木 啓展 先生

松木 啓展(まつぎ ひろのぶ)と申します。古い師が名前を付けたので、たいへん読みづらい名前ですが、読みづらい分だけ、一度覚えていただくと、なかなか忘れない名前のような気がします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

定時制課程には、皆様ご存知のように、小・中学校で、いじめや不登校を経験した生徒が多く入学してくるようになりました。自分自身に対しても、社会との接し方にも自信がもてない何人かの生徒は、アルバイトにも、なかなか挑戦しようとしません。

そんな生徒を励ましてくださるのが、行事への参列、講演や指導、授業参観という形で、来校して下さる、白聖会を

始めとする外部のお客様です。本来なら、家でゆっくりと寛ぎたい夜の時間に、わざわざ来校して下さるお客様のご厚意は、同じ夜の時間に勉強している生徒だからこそ、身にしみて理解できることなのでしょう。

今年度、校長からPR活動に力を入れるようにと命じられました。定時制がPRできること、PRしなければならぬことと言え、もちろん、白聖会を始めとする皆様を守り、育ててくださっている生徒しかありません。お蔭様で、中学校の先生から「中学校では不登校だったのに、どうして高校には通えるのですか」とお誉めの言葉をいただきました。日本教育新聞には、学校設定教科「日本の伝統・文化」の授業風景が掲載されました。BS日テレでは、ジャイアンツの選手と交流する軟式野球部の姿が放映されました。

今後とも、定時制課程へのご支援をお願い申し上げます。

平成19年度決算案

【一般会計】

◆収入 単位:円

費目	19年度予算	19年度決算	備考
繰越金	476,180	466,380	9,800円減は入金金を18年度決算の折に誤入金
入会金	9,800	9,800	5,000*2(定)-振り込み手数料200円引き
総会会費	120,000	78,000	4,000*19
新年懇親会費	125,000	74,000	4,000*16名+ご祝儀10,000
年会費	1,110,000	1,055,980	寄付を含む
雑収入	20	1,451	預金利息等
合計	1,841,000	1,683,611	

◆支出 単位:円

費目	19年度予算	19年度決算	備考
総会費	120,000	71,387	会場使用料・飲食費
新年懇親会費	125,000	80,560	飲食代
会議費	80,000	93,188	役員・幹事会、会報編集等の会場費、飲食代
慶弔費	50,000	30,000	小林校長ご母堂様ご逝去のご香典
通信・事務費	270,000	289,888	EPS事務代行費18年度分113,334円を含む
渉外費	50,000	17,500	P.T.A行事のお祝儀等
会報発行費	500,000	435,818	会報805部発行
卒業記念品費	100,000	1,950	
ホームページ関係費	19,950	50,160	サーバー利用料・ホームページメンテナンス
白聖祭費	35,000	44,358	接待用喫茶代、雑費、展示費
90周年事業積立金	100,000	100,000	積立累計400,000
予備費	70,000	82,057	オリンピック号修復費用
翌期繰越金	321,050	386,747	
合計	1,841,000	1,683,611	

一般会計繰越金

翌期繰越金	386,747
90周年事業積立金	400,000
合計	786,747

【山中寮基金】

◆収入 単位:円

費目	19年度予算	19年度決算	備考
繰越金(現金)	13,742,034	13,742,034	マンション敷金を含む
マンション管理料	1,452,000	1,454,000	
雑収入	5,966	12,714	預金利息
敷金		344,513	
合計	15,200,000	15,553,261	

◆支出 単位:円

費目	19年度予算	19年度決算	備考
マンション管理費	150,300	189,185	12,525円*12ヶ月+38,885円
公租・公課	51,500	214,217	固定資産税・都市計画税
修繕費	100,000	0	
雑費	8,200	8,236	山住電話料・マンション調査・協議
予備費	90,000	0	
マンション購入費		11,155,844	
敷金返金		188,349	
翌期繰越金	14,800,000	3,797,430	敷金416,618円を含む・2,000,000円定期預金
合計	15,200,000	15,553,261	

敷金	入金	返金
繰越金	260,454	
		188,349
	344,513	
合計	604,967	188,349
残高		416,618

保管者および金額

大井 淳一郎	普通預金	401,790
大井 淳一郎	定期預金	2,000,000
斉藤 勇	普通預金	1,395,640
合計		3,797,430

【所有マンション】

名称	購入価格	所在地
マイファリエ十字街 208	10,600,000	豊島区長崎4-3-12-2
H.I.L.S. 桜台 103	12,400,000	練馬区桜台1-24-19
H.I.L.S. 桜台 402		練馬区桜台1-24-19

平成19年度事業報告

- ①19. 4. 16 広報部会: 会報編集
- ②19. 5. 12 役員・幹事会 開催
- ③19. 6. 1 白聖会報46号 発行
- ④19. 6. 23 白聖会総会および懇親会 開催
- ⑤19. 9. 6 マンション購入
- ⑥19. 11. 11 母校白聖祭に白聖会コーナー 開設
- ⑦19. 11. 15 いたばし産業見本市に出展
- ⑧20. 2. 2 新年懇親会 開催
- ⑨20. 2. 16 広報部会: 会報編集
- ⑩20. 3. 20 トシマ産業見本市に出展

同窓会(クラス会)幹事さんへ

母校の校章を基調とした白聖会グッズの販売をしております。クラス会の記念にいかがでしょうか。
◇ネクタイピン、カフス、バッチ、バックル等
問い合わせは広報部・大野までご連絡下さい。

TEL 3961-6773
FAX 3961-3030

「恩師からの手紙」

北豊島工高の思い出

松尾 龍太郎 先生



北豊島工高に来た頃は元
気な生徒が多いと感じ、茶
髪やトイレでの喫煙等毎日

のように問題が起きていたように覚えていますが、先生方も負けじと奮闘されていました。その最中生徒指導部の主任となり茶髪の撲滅、謹慎指導の減に向けての闘争が始まりました。

校長・副校長が代わったこともあり、やり易かったことと生徒・保護者との問題が起きても管理職が引き受けてくれたこともあり、茶髪指導や問題行動の減に何の不安も無くやれたかなと思います。その結果、学校運営連絡協議会や地域の方、交番のおまわりさんにも良い評価をしていただきました。その他いろいろな問題も大きくならないうちに解決できたのは他の先生方の協力があったお陰と認識しています。

また、この学校に来て自分自身だけでなく家族の人生や生活が大きく変わったなあと思いました。自分自身の管理職試験、子供の大学受験や高校受験、中高一貫校の受験とめまぐるしく起きてきた七年間でした。

北豊島工高で出会った方がたや経験・思い出は忘れられないものになりました。この経験を次の仕事に生かしていくことが皆様へのご恩返しであると思います。

またどこかの空で出会えることを楽しみにしております。ありがとうございました。

東 西 南 北

「会員からの便り」

・S33年 機械科卒 島津英幸

御無沙汰しております。いつも総会に出席出来ず申し訳ありません。会報に先生の近況が掲載されてお元気のご様子安心いたしました。私達クラス会メンバー13名で6月5～6日で那須岳・朝日岳の登山をしました。研究会時代につれていただいていた三斗小屋温泉に1泊して来ました。(露天風呂が出来ました)

・S27年 機械科卒 平澤達彦

会報に旧校舎の写真が掲載されており大変懐かしく昔を思い出しながら暫く見ておりました。小生在学中から写真が好きでキャノンに入社したのですが、北豊島卒でキャノンに入社した者は30人以上今でも豊友会と言う会を作り15人が年1回会合を持っております。

・S18年 機械科卒 草間芳雄

今年5月に毎年のクラス会を所沢で行い、向芝氏他計9名が参集、松山氏は療養中で不参加少なくなりました。

・S15年 商工機械科卒 鈴木幸春

府立商工学校本科機械科S14年卒の為、ジュシー渋柿会、「今は淡いが後に甘くなる」と云う事でクラス会名を渋柿会とす。終戦後連絡が取れなくなったが昭和55年30数年振りに約20名の住所が分り再会。毎年1回都内で会食を楽しんで居りましたが83歳と高齢会となり解散したが、やはり元気な者だけで半年後16名で再開、4月に三水会と名称を変更し4月第3水曜と10月第3水曜日に食事会としたが去年2名、今年4名と淋しくなった。

白聖山荘の売却について

蓼科に所有していた白聖山荘の閉所については、既に平成18年の白聖会報第45号において、白聖山荘運営部長の永田昇氏より詳細な経緯が報告されていますので、その後につきましてご報告申し上げます。

その後、役員会におきまして、山荘運営部を中心に討議をしました結果、年間150万円を超す維持費、さらに、平成18年は賃貸契約更新の年に当たり、約300万円の更新料が必要になり、財政的に維持・管理の困難が見込まれ、また、永田氏の報告のように、利用状況も期待はずれとなりましたので、平成18年度の総会におきまして売却することを議決しました。

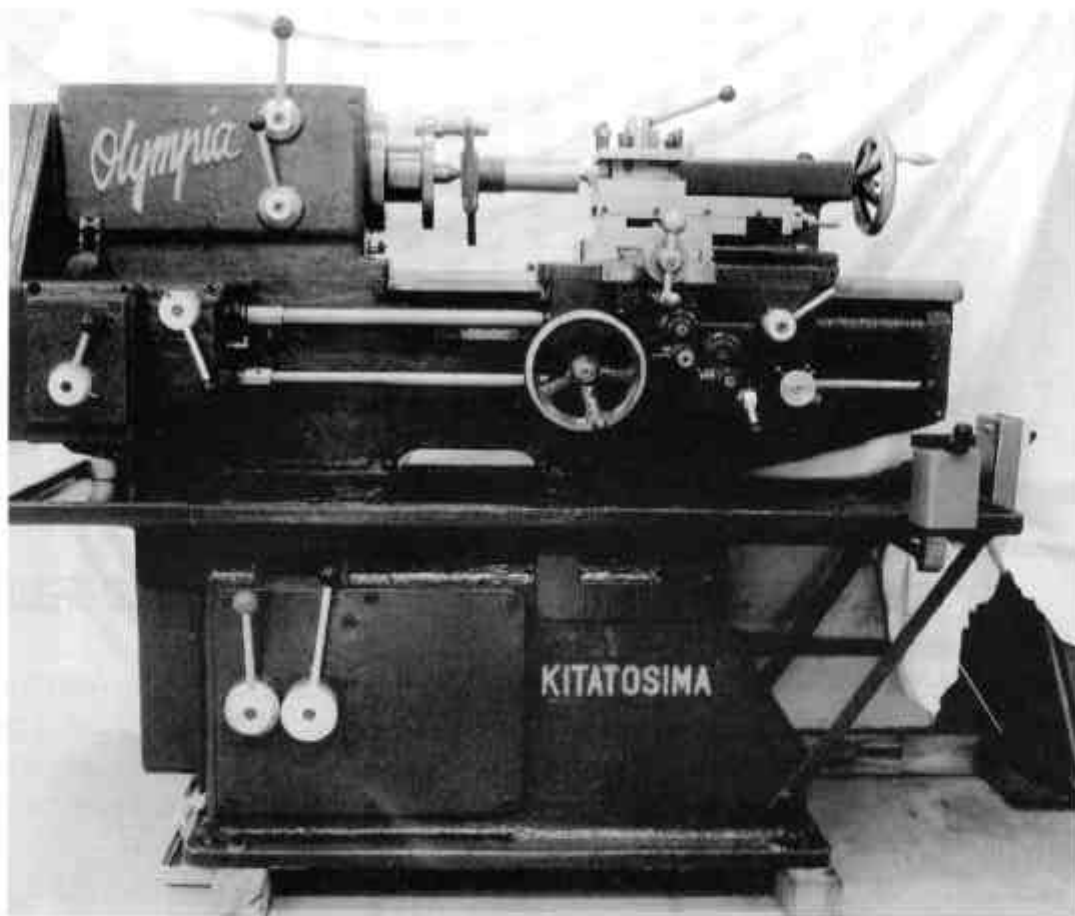
山中寮基金管理部長の齊藤勇氏にいろいろとお骨折りを頂き、平成18年12月26日にJ E S C Oホールディング株式会社(白聖山荘の筋向いに寮を所有している会社)に譲渡いたしました。(売却金額および売却経費は白聖会報第46号掲載)

そして、また、齊藤勇氏のお骨折りにより、平成19年9月6日に西武池袋線東長崎駅より徒歩5分の所(豊島区長崎4-33-2)に16.85㎡のワンルームマンションを購入し、賃貸料を取得しています。

購入金額等につきましては、会計報告をご参照下さい。

オリンピア

～ 昭和38年度 1号機完成 ～



平成十九年度に修理を行い、リニューアルしたオリンピアは、十一月の白聖祭で試運転を行いました。

昭和36年度から38年度にかけて教職員と生徒が知識と知恵と希望を注いで1号機が作られました。現在は学校だよりもなっている「オリンピア」。誕生までを一部ご紹介します。

昭和三十六年度に設計開始して以来、三年目の三十八年度はいよいよ旋盤の完成年度である。三十七年度でベッド往復台主軸台の荒加工は完了したが、その仕上げ加工はほとんどどの部品が完成されていない状況で、我々も不安はあった。一旦計画したものは是非でも完成させねばという全職員の意気込みと、卒業式には是非われわれの手で試運転をとという生徒との呼吸があつて、予定以上に工程は進行した。

いよいよ卒業試験も終わり、あますところわずかに二十日足らずである。生徒は試験休みのプランに各クラスともうきうきしていたが、希望者を中心に最後の組立段階に入った。幸にそれほどの手直しもなく、不足部品の加工をこれら生徒は黙々と毎晩八時間近くまで先生方と頑張ってくれた。いよいよ三日後に卒業式を控え、教師は入学試験、卒業式事務に、生徒は卒業式予行送別会と学校行事に昼間は追われ、毎晩星空を仰ぎながら終電に駆け込む日が続いた。

この段階にくるともう一刻を争い、各人の技術の問題となつて、実力だけが唯一の頼りであつた。間に合わない部品、手直しの部品と次々に起る問題を一分一秒を争って解決しなければならぬ。個人の力ではどうにもならない。先生方の団結の力、生徒の真面目な努力は全く拌みたくなくなるような感激であつた。

明日は卒業式というのに三年の担任も生徒も散髪に行く暇もない。それほどの切迫した空気の中で頑張った。しかし夜八時頃ようやく完成の見通しはついた。今ならまだ散髪に間に合うというので生徒は全員帰して職員だけ最後の組立に入った。しかし土壇場になって親ねじがエプロンの一部に当たってどうしても組み立たない。この手直しをやっているとまず二時間は遅れる。そうすれば完成は午前一時を過ぎ終電にはとうてい間に合わない。新婚の先生は今晚は学校に泊り込むと張り切っていたが遂に親ねじは断念して最後の組立に入った。一部の先生は明日の除幕式の準備、旋盤の塗装と超人的に活躍した。そして、昭和三十八年三月九日午後十一時三十分ついに完成した。

設計者の大井先生がスイッチを入れる。軽い旋盤のうなり、パイトは静に送られ、材料に切込まれてゆく。息をつめた一瞬、全員言葉もなく、連日の疲れを忘れて涙にひかかった眼で、旋盤

に、バイトの先に、くい入るようにつめるのみであった。

明くれば三月十日晴れの卒業式も終わり、待ちに待ったオリ
ンピア号の命名式である。卒業生一同は卒業証書片手に続々式
場集った。来賓父兄一同が見守る中に除幕・命名式が行なわ
れオリンピア一号機の誕生である。各所から「おお！ かつこう
いい！」の連発の中に学校長のスイッチ、生徒代表の試運転に
より軽快な響きとともに切粉は流れるように削り出されてゆく。
これを俺達の手で作ったのだ。

期せずして工場に響き渡る拍手の波、われわれ機械科職員一
同は心の底から機械科教員としての生き甲斐を涙とともににかみ
しめた。

この感激は生徒代表見留君の次の挨拶によつてよく表されて
いる。

「オリンピア号の完成にあたって、私達が初めて工作機械と
いうものを学んでから早くも三年が過ぎ、いよいよここに卒業
をむかえました。入学当時は旋盤のセの字も知らなかった私達
が、こんにちここに自分自身の手で作った最新型の旋盤オリン
ピア号の完成を迎え驚きと嬉しさの気持で一杯であります。

ちょうど一年前この計画を聞いて当時の感覚としては、私達
にとつて非常にむずかしいもののように思われました。しかし
機械科の生徒としての能力を計り知る初の機会に対する希望と
不安で一杯でした。諸先生から学んだ知識と技術によつてここ
に克服することができました事は、私達に技術者としての自信
をより一層強くもたらせてくれました。

どうぞ皆さん御覧になって下さい。このボルト一本、歯車一
個は私達の全神経が集中されて作られたものです。これが私達
の技術です。知識です。明日より社会へ飛び立つ私達にとつて
このオリンピア号こそ悔いのない後輩への贈物であり、また記
念品でもあります。ここにオリンピア号が計画どおりに完成し
たのも一重に諸先生方の心からの厚い御指導によるものと感謝
し、お礼申し上げます。

計画したことを是が非でも予定期日までにやり遂げる。この
機械技術者の精神は三年間の工高生活における最大の教訓とし
て一生かれらは忘れないであろう。」 (元 機械科 長池永武喜)

～平成19年度より～

学校だより「オリンピア」を発行しています。

学校だより「創刊号」に寄せて

校長 小林 薫

生徒諸君へ、今まで学校から君達に広報する方法としては、「生徒会だより」「保健室だより」「図書館だより」「PTAの匠」と季節の変化や学校行事の開催等のお知らせで行って来ました。これらには、君達の活躍はほんの少ししか報告されていませんでした。そこで、君達の素晴らしい活躍をみんなに広報することを目的に、今回より月1回の発行を原則として「学校だより」を発刊します。内容は、学校行事・部活動・学級の取組・資格取得者・奉仕やボランティア体験・本校の歴史や活躍する先輩方のことなどを、記事として取り上げます。6人の主幹の先生方が交代で編集長を務めます。君達が読み終わったら、必ず家庭に持ち帰り、保護者の方にも読んでもらってください。そして、紙面の最後には、次回発行日(予定)を明記します。是非、期待してください。

「オリンピア創刊号」より抜粋



平成20年度

教職員異動

東京都立北豊島工業高等学校

転出教職員				転入教職員			
職名	氏名	教科	新所属	職名	氏名	教科	旧所属
主幹	松尾龍太郎	工業機械	杉並総合	主幹	吉田守	工業機械	荒川工業
主幹	人見正嗣	工業機械	教職員研修センター	教諭	山本義男	工業電気	荒川工業
教諭	達伊哲子	国語	板橋有徳	教諭	石本波留子	国語	新規採用
教諭	木内美帆	理科化学	墨田川	教諭	田代真義	理科化学	つばき総合
教諭	穂積永好	工業電気	杉並工業	教諭	田口英雄	工業電気	王子工業
実習助手	関弘樹	工業電気	墨田工業	実習助手	林克征	工業電気	荒川工業
副校長	松木啓展		青梅総合	副校長	横山芳夫		荒川工業
教諭	笠原倉利	工業機械	工芸	教諭	大澤泰広	工業機械	杉並工業
専修実習助手	佐藤正昭	工業機械	本校再任用	再任用	佐藤正昭	工業機械	
係長	両角八博		大泉高校	主任	佐々木由利子		病院本部
主事	川崎共子		総務局	主任	吉田正幸		練馬工業
技能主任	菅原隆子		桐ヶ丘高校	再任用主任	澤田邦芳		高島高校
				技能主事	梅田征司		桐ヶ丘高校



進路状況

◆進学関係◆

城西大学経営学部マネジメント総合学科(指定校推薦)
 城西大学経済学部経済学科(指定校推薦)
 東京富士大学経営学部経営学科(公募推薦)2名
 日本工業大学電気電子工学科(校友会推薦)
 日本工業大学機械工学科(指定校推薦)
 東京電機大学未来科学部情報メディア学科(校友会推薦)
 ものつくり大学技術工学部製造技能工芸学科(指定校推薦)
 中央学院大学法学部法学科(AO)
 東京理容専修学校(通信部)
 ホンダテクニカルカレッジ関東(自動車整備科)
 専門学校トヨタ東京自動車大学校(自動車整備科)
 華調理専門学校(調理本科)
 日本電子専門学校
 東京ミュージック&メディアアーツ尚美 音楽・映像学科
 専門学校東京ネットウエイブ
 日本ペット&アニマル専門学校
 東京コミュニケーションアート専門学校
 音楽学校メザール・ハウス
 都立中央・城北職業能力開発センター赤羽校(電気工学科)
 都立中央・城北職業能力開発センター板橋校(自動車車体整備科)

◆就職先企業◆

アイエックスナレッジ㈱ カワセ印刷㈱ 大日本印刷㈱ 日本空調サービス㈱
 ㈱アイエム ㈱関電工2名 ㈱野野機械製作所 日本ステリ㈱
 ㈱青木電気設計事務所 ㈱カンドー ㈱ディーケ ㈱日本総合施設東京支店
 ㈱日精機工業㈱ ㈱京装コンピュータ ㈱DNP製本 日本ビルメンテナンス㈱
 あすか創建㈱ 共同物流㈱ ㈱DNP包装 ㈱ビックカメラ
 ㈱アドバンス ㈱光洋 テコム㈱ ㈱ビルテクノス
 アネス㈱ ㈱国宝社 テスコ㈱ ㈱フジモデル
 ㈱アベックス コンクリートコーリング㈱ ㈱デンテック ㈱富士ロジ・オペレーシ
 アライ電機産業㈱ サミット㈱ 東亜技研工業㈱ ョンシステム
 石田エンジニアリング㈱ 三栄ビルシステム㈱ 東京技研工業㈱ ㈱前田電設
 ㈱ヴィクリエート ㈱産経東京制作センター 東京不動産管理㈱ 三浦建設㈱
 ㈱エイエヌオフセット ㈱CRCシステムズ ㈱東京スタイル ㈱メックス
 ㈱栄工舎2名 NECネットワークサービス㈱2名 新栄通信㈱ 凸版物流㈱ 森ビル㈱
 MTファシリティーサービス㈱ 未広印刷㈱ ㈱ナカバヤシ ㈱安田屋
 応用電子工業㈱ ㈱全日警 ㈱中村塗装店 ㈱ナブコシステム㈱ ㈱レッドパロン
 ㈱カクヤス ㈱第一建築サービス㈱ ㈱日経印刷㈱ 防衛省自衛官(2等陸士)

平成19年度 (会報46号に依る) ・会費納入者 一覧 (敬称略)

・寄 付 者

・平成20年3月31日現在

※皆様のご協力厚く御礼申し上げます。同窓会は皆様のご支援で成り立っております。
 本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

【あ】	遠藤 佳成	黒田 昇	渋谷 昭夫	昭夫 克亮	館 中 昭一	西山 富夫	松本 光司
青木 和夫	【お】	桑原 功	嶋田 耕一	田中 仁昭	【ぬ】	丸山 直浩	
青木 健	大井 清代	【こ】	島津 英幸	田中 正行	布川 清浩	【み】	三浦 義邦
青山 薫弘	大井 淳一郎	小泉 洋一	清水 義友	田中 尚	布川 浩	三門 信也	
秋野 勝己	大川 時夫	小出 正悦	清水 朋子	田中 良三	沼田 耕一	三木 好茂	
浅野 寿夫	大木 純一	小島 清	志村 信行	田原 通弘	沼田 桂一	三澤 茂夫	
新井 光弘	大谷 和久	小島 龍男	志村 昌勇	玉越 慶弘	【ね】	水口 進	
渥美 卓	大塚 兼介	後藤 道夫	志村 昌勇	田村 五三雄	根岸 宏行	三角 敏明	
天野 孝大	大野 勇太郎	小西 清	城地 敏	田村 博	【の】	湊 孟	
雨宮 幸宏	大堀 健藏	小林 秀夫	白土 達二	田村 貴則	野地 徳治	宮崎 猛	
新井 芳明	大村 富美夫	小林 公	新 忠雄	為本 六花治	野志 一男	【む】	向芝 新市
荒木 勇雄	岡田 恵司	小林 曠	【す】	【ち】	【は】	村田 英範	
荒木 隆策	岡田 忠士	小林 都美雄	菅 久夫	千葉 幸悦	橋本 允	村田 源次	
有馬 雅男	岡野 智之	小林 俊作	杉浦 光二	【つ】	長谷川 忠男	村田 昭一	
有馬 広	小川原 俊行	小林 浩幸	鈴木 實	辻 弘	羽田 聡二	本橋 忠芸	
有村 大三郎	小河原 治郎	小林 俊之	鈴木 邦雄	土淵 知之	早川 直行	【も】	森 健一
【い】	奥井 勉	小林 良也	鈴木 常之	土屋 靖夫	林 茂清	柳川 洋平	
飯田 恭一	【か】	小原 修司	鈴木 良典	土屋 昭彦	原山 清	山浦 賢司	
飯田 幸治	柏尾 登美夫	小日向 征一	鈴木 幸春	土屋 幸男	【ひ】	山口 隆一	
五十嵐 孝	片岡 和憲	駒村 行則	鈴木 宣直	都築 俊宏	桧山 良幸	山田 弘志	
五十嵐 満	片岡 穆	五味 久	鈴木 利雄	鶴田 昭一	平尾 輝一	山田 建治郎	
五十嵐 秀雄	片岡 裕夫	小宮 多喜次	鈴木 孝	【て】	廣田 富三	山村 種利	
五十嵐 照明	勝田 貞義	小宮 勇	鈴木 勲夫	寺島 学	【ふ】	山村 芳雄	
五十里 満	加藤 貞義	小宮 広治	鈴木 進	寺島 正俊	深野 泰男	山本 功	
池上 朝夫	加藤 武男	小山 敏郎	鈴木 新一郎	【と】	深野 祐輔	【よ】	横井 進
池田 国夫	金子 将博	昆 博	鈴木 祐一郎	時田 勝	福島 嘉高	横川 厚郎	
池田 順一	鎌田 隆一	近藤 吉弘	鈴木 豊次	富田 弘平	藤田 好宏	横山 藤次	
石井 健児	亀井 俊明	近藤 健治	【せ】	富田 多恵子	藤村 仁	吉原 善則	
石川 祐介	川合 修	近藤 靖彦	関根 武二	豊島 敏行	藤森 康雄	米田 隆志	
石原 実	川口 実	【さ】	関根 稔	【な】	船山 貞夫	【わ】	和久田 英二
石原 洋司	川島 恒夫	三枝 秀樹	瀬戸 卓郎	長尾 人志	古沢 守夫	和田 弘幸	
泉 嘉彦	川島 治	斉藤 勇	【た】	中島 重夫	【ほ】	和田 久泉	
板橋 邦浩	川嶋 敏之	斉藤 謙一	醍醐 晃	中島 勲	北條 健一	渡辺 豊司	
伊東 千代	川村 茂	斉藤 信夫	高沢 克巳	永田 昇	細井 寅夫		
稲見 義明	神田 淳	坂井 正	高島 昭一郎	永田 雄三	細岡 幸太郎		
井上 寛章	神原 隆久	崎村 君子	高島 晴幸	中谷 俊雄	細川 法臣		
井部 俊吉	【き】	佐藤 重次	高田 健三	中原 一生	堀江 東司		
今井 實	鬼沢 幸夫	佐藤 可一	高橋 恒彦	中村 喜一	【ま】		
岩崎 清	北島 隆	佐藤 廣一	高橋 郁三	中村 啓夫	増田 博明		
岩本 秀樹	喜内 賢次	佐藤 健藏	高橋 正美	中森 弘	増田 英二		
【う】	木下 耕介	【し】	高橋 瀧澤	中山 伴造	松川 光男		
上坂 和夫	桐ヶ谷 清一	椎名 辰雄	瀧澤 秀磨	【に】	松沢 敏昭		
内田 稔	【く】	滋野 一二	田口 竹内	新村 義忠	松本 庄次		
内田 貢司	草間 芳雄	滋野 忠昭	竹内 秀一	新山 文夫			
内田 利男	熊岡 洋一	篠山 幾優	竹林				
浦和 宏之	熊沢 功七						
【え】	黒崎 政義						
榎本 操							

白聖ニュース

「いたばし産業見本市」

板橋区内企業を中心とした、優れた製品や技術を紹介する「いたばし産業見本市」が昨年十一月十五日(木)から十七日(土)まで、板橋区立東板橋体育館で開催されました。

第十一回を迎えた今回の見本市は、テーマを「板橋区のものづくり〜ナンバーワン&オンリーワン〜」とし、八十四の企業、教育・研究機関、金融機関や産業団体が参加し、ネットワークづくりや商談など、活発な意見交換や情報収集が行われました。

本校は、見本市の実行委員を務めるとともに、展示ブースを設け、生徒の作品や日頃の活動を紹介するなど、地域のものづくりを担う一員として、精力的に参加しています。

また、白聖会としても窪田工房の窪田和人氏より、「キサゲ」等の実演が行われ、高い技術力を来場者に広くPRすることができました。



また、今年度は、本校と都立中央・城北職業能力開発センター板橋校と連携して「ものづくり体験コーナー」を設置し、オリジナルグラス製作教室、キーホルダーの作製、コインの彫刻を実施し、子どもたちにもものづくりの楽しさ、おもしろさを実感してもらおうことができました。



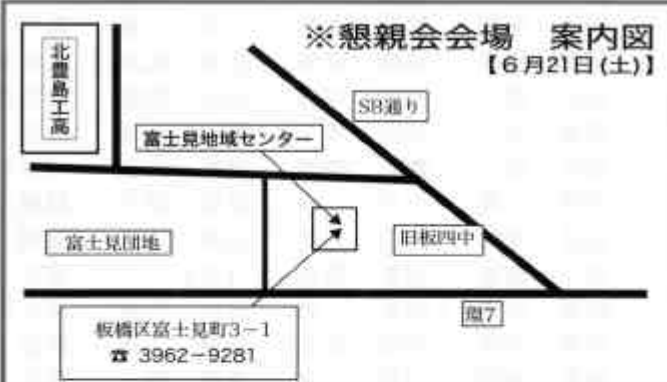
「としま」ものづくりメッセにも出展
今年の三月二十日〜二十二日までの会期でサンシャインシティ展示ホールB(文化会館4F)を会場に第一回「としま」ものづくりメッセが盛大に開かれた。

第一回とあつて、としまのものづくりメッセ実行委員会が主催し百社近い出展数がありなかなかの盛況でした。

白聖会からはキサゲ加工(体験)の窪田和人氏、「からくり人形」(体験)の大野精密の大野勇太郎氏、両氏が参加しました。

又体験コーナーでは大勢の人垣が出来、大人気を博しました。来年度も開催する予定です。で会員の皆様で出展希望の方は事務局まで申し出下さい。

※懇親会会場 案内図 【6月21日(土)】



貴社のホームページと白聖会ホームページを接続しませんか!



※お申し込みはHP: <http://www.hakuukai.jp/>の「リンク集」から
①リンク登録料は無料ですが、運用補助金として年/5千円協力願います。
②ホームページが無いが、会員へ紹介したい等、新規でページを作成したい方も上記「リンク集」からお申し込み下さい。

訃報

- ・大和 禎人 (先生) 平成20年1月20日 享年 93歳
- ・国原 達士 (先生) 平成19年1月10日 享年 90歳
- ・浜松 秀通 (先生) 平成19年9月
- ・八構 三郎 (昭和14年卒) 平成18年11月
- ・江口 潔 (昭和15年卒) 平成19年3月
- ・檜山 広 (昭和18年卒) 平成19年5月30日
- ・井上 一男 (昭和21年卒) 平成19年9月
- ・橋本 猛 (昭和21年卒) 平成19年11月20日 享年 80歳
- ・島田 紀孝 (昭和23年併中卒) 平成18年9月20日
- ・新井 兼吉 (昭和24年卒) 平成19年11月 享年 76歳
- ・藤井 實 (昭和40年卒) 平成19年4月20日 享年 60歳

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。